

中期経営計画 BEACON 2030 Phase II

激変する世界情勢の中、厳しい経営環境にありますが、「BEACON 2030 Phase II」では、全社収益改革を実行し成長領域への投資を本格化するとともに、新たな事業モデルの構築および既存事業との連携を強化します。

3つの指標・6つの重要施策

全社収益改革を実行することで、成長領域への投資を本格化し、グローバルメドテック企業への変革を加速

1 成長性

売上高CAGR
(24/3-27/3期)

5%

製品競争力の強化

北米事業の成長に
注力

2 収益性

営業利益率
(27/3期)

15%

全社収益改革の実行

グローバルサプライ
チェーンの進化

3 資本効率性

ROE
(27/3期)

12%

日本光電版ROICの導入

キャッシュ・コンバー
ジョン・サイクルの短縮

サステナビリティ経営の実践

医療課題

環境課題

社会課題

詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。



中期経営計画 BEACON 2030 Phase II



2027年3月期 経営目標値

売上高	2,560億円
国内	1,570億円
海外 (海外売上高比率)	990億円 (38.7%)
売上総利益率	53%
営業利益 (営業利益率)	385億円 (15%)
親会社株主に帰属する当期純利益	250億円
ROIC	12%
ROE	12%

地域別・商品群別の売上目標 (2027年3月期)

売上目標		売上成長の内訳と成長ドライバー	
2,219 億円 2,560 億円 24/3期 27/3期 24/3期-27/3期 CAGR 5%	地域別	24/3期-27/3期 CAGR	
		日本	1,570億円 3%
		北米	500億円 11%
		中南米	60億円 0%
		欧州	140億円 2%
		アジア州他	290億円 7%
商品群別	商品群別	生体計測機器	530億円 4%
		生体情報モニタ	980億円 5%
		治療機器	630億円 7%
		その他	420億円 2%
		うち消耗品・サービス	1桁半ば
		うちソリューション	1桁半ば

※ 想定レート：1米ドル=140円、1ユーロ=150円。